



SDGs 未来都市  
富田林  
ACT FOR 2030

# 特に寄附をお願いしたい 富田林市の取り組み

お問い合わせ 富田林市 市長公室 都市魅力課

TEL 0721-25-1000(内線328)  
mail furusato@city.tondabayashi.lg.jp



路線バスの廃止に伴う新しいスタイルの公共交通に向けて

## プロジェクト名 地域公共交通活性化事業



産業まちづくり部交通政策室  
0721-25-1000 (内線416)  
koutsu@city.tondabayashi.lg.jp

### 本市を取り巻く課題とプロジェクトの目的

富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村の南河内地域で100年近くにわたり利用されてきた「金剛バス」が、令和5年12月20日をもって廃止されました。

年間約110万人が利用し地域住民の日常生活に欠かせなかった金剛バスの代替えとして、沿線4市町村並びに市内路線バス事業者の協力により新たな公共交通が運行をスタートしました。

本プロジェクトは、公共交通の維持に関する全国的な課題に対処し、沿線4市町村と関係機関が連携・協力し、地域住民の移動手段を将来にわたり確保し、安心して暮らせる地域社会を維持するための取り組みです。

### プロジェクトの内容(ご寄附の活用)

新たな公共交通については、沿線4市町村で構成する法定協議会が運営主体となり、利用者の多い5路線を近鉄バス及び南海バスの2社が運行するほか、沿線4市町村それぞれが運営するコミュニティバス等が補完するなど、このプロジェクトにかかわるすべての事業主体が、それぞれの役割のなかで可能な資源を活用しながら構築することに努めました。

今年度は、コミュニティバス等の運行を引き続き継続しながら、長期的に安定した地域公共交通の確保維持ができるよう、広域版の地域公共交通計画の策定や、路線バスの転回地の確保等に、4市町村で連携して取り組みます。



富田林のこどもの未来を応援

## プロジェクト名 とんだばやし子ども食堂事業



子ども未来部子ども政策課  
0721-25-1000 (内線291)  
k-seisaku@city.tondabayashi.lg.jp

### 本市を取り巻く課題とプロジェクトの目的

本事業は、居場所の提供や食事の提供、学習支援などを通じて、富田林市で暮らす子どもやその保護者を支援する地域の子どもの食堂に対し、その活動を支援することを目的としています。

### プロジェクトの内容(ご寄附の活用)

富田林市内には、民間団体等が運営する13箇所の子どもの食堂があり(R6年3月1日時点)、年間でのべ13,000人程度の方が利用しています。各団体が、今後も地域のこどもの居場所として食堂を運営されるよう、また、市内16小学校区全てに子どもの食堂が開設されることをめざして、食材費等の補助事業を実施しています。

ミューラルで作る新しい観光

## プロジェクト名 富田林ミューラルプロジェクト



生涯学習部生涯学習課  
0721-25-1000 (内線582)  
s-gaku@city.tondabayashi.lg.jp

### 本市を取り巻く課題とプロジェクトの目的

若者会議からの提案事業として、市内に5つウォールアート(ミューラル)を描き、これらを巡る新しい観光コンテンツにしてはどうか、という意見が採用されました。これを受け、本市が従来から取り組んできた「まちかどミュージアム事業」とも連携し、一昨年には金剛東中央公園に第1号が完成しました。

### プロジェクトの内容(ご寄附の活用)

市内に3箇所目のウォールアート(ミューラル)として、レインボーホール(市民会館)に新たな観光スポットを創造します。

- ◆ 富田林産なすPR事業
- ◆ 万博機運醸成イベント事業「とんだばやし万博」開催プロジェクト
- ◆ 金剛中央公園におけるBBQ社会実験イベント事業なども寄附を募集していますので、ぜひご相談ください。